

2020 年度 特別重点研究助成実施状況報告書

2021 年 4 月 1 日

学 長 殿

研 究 所属・職 文学部教授

代表者 氏名 山田邦明

研 究 課 題 愛知大学等における歴史的建造物の調査・研究

研究の中心となる
研究所 総合郷土研究所

研究実施状況の概要

研究成果の公表、学内・学外機関による評価の実施、外部資金獲得への取り組み状況等についても記述してください。

- ・本年度（2020 年度）は特別重点研究の初年度にあたり、当初の研究実施計画は以下の通りであったが、新型コロナウイルス流行の影響により、「④陸軍師団にかかわる歴史的建造物の見学・資料収集」と「⑤講演会・研究会等の開催」は遂行することができなかった。
 - ① 愛知大学に所在する歴史的建造物の所在確認
 - ② 愛知大学の建造物にかかわる資料収集、歴史的経緯の研究
 - ③ 愛知大学に所在する歴史的建造物の調査・耐震診断
 - ④ 陸軍師団にかかわる歴史的建造物の見学・資料収集
 - ⑤ 講演会・研究会等の開催
- ・本年度の事業の中核に位置するのは「③愛知大学に所在する歴史的建造物の調査・耐震診断」で、建物調査については泉田英雄氏（元豊橋技術科学大学准教授）、耐震診断については魚津社寺工務店に委託して、作業を進めた。対象とした建物は以下の 5 つである。
 - 陸軍第十五師団司令部（愛知大学旧本館、現在の大学記念館）
 - 歩兵第六十聯隊将校集会所（もとの総合郷土研究所・中部地方産業研究所）
 - 陸軍教導学校大講堂（現在の第二体育館）
 - 陸軍養生舎（現在の教職員組合事務所）
 - 機銃廠（現在の中部地方産業研究所附属生活産業資料館）
- ・建物調査については、10 月 23 日～25 日に泉田英雄氏を中心とする本調査（渡邊義孝氏、山口晋作氏、魚津社寺工務店の藤井智規氏も参加）、12 月 6 日～7 日に泉田氏による補充調査がなされ、その成果を「愛知大学豊橋校舎敷地内旧陸軍施設実測調査報告書」（調査結果と建物の図面を収める）としてまとめた。
- ・耐震診断については、その成果を「愛知大学豊橋校舎内物件耐震診断業務構造検討書」としてまとめ、建物の耐震診断の結果と、補強の方法についての所見を示した。なお、陸軍教導学校大講堂（現在の第二体育館）は鉄骨造で、柱脚や、壁などによって見え隠れとなった接合部の仕様が不明であるため、現時点では正確な耐震診断ができないことが判明した。
- ・「②愛知大学の建造物にかかわる資料収集、歴史的経緯の研究」については、豊橋校舎の総務課に「旧豊橋第一陸軍予備士官学校（歩兵隊）払下申請図面」と題された建物・工作物の図面（158 枚）が保管されていることがわかった。また、この図面に関連して、大学構内における建物・工作物の配置を記載した地図（建物工作物一覧図、昭和 36 年 12 月の状況を示す）の所在も確認された。大学が豊橋校地の払い下げ申請を行ったのは昭和 37 年なので、これに先立って図面が作成されたものと推測される。
- ・「①愛知大学に所在する歴史的建造物の所在確認」については、建物・工作物の図面と、地図（建物工作物一覧図）を参考にしながら、校舎内の建物や遺構の調査を行った。正門と副門（かつての西門）については図面を参照しながら昭和 36 年当時と現在の状況を比較し、「土手」の調査により、そのかなりの部分が残されていることを確認した。

- ・本年度の研究成果を早めに公開するため、『愛知大学特別重点研究 愛知大学等における歴史的建造物の調査・研究 年次報告書—2020 年度—』を編集・刊行した。ここには前記した「愛知大学豊橋校舎敷地内旧陸軍施設実測調査報告書」と「愛知大学豊橋校舎内物件耐震診断業務構造検討書」の一部（「はじめに」「耐震診断」「耐震診断結果と補強計画案」の部分）を収録し、あわせて「旧豊橋第一陸軍予備士官学校（歩兵隊）払下申請図面」の目録と「建物工作物一覧図」も収めた。